

日本共産党 和歌山市会議員

ひめだ高宏ニユース

NO.955

13.4.17

淡路島で震度6弱の地震が

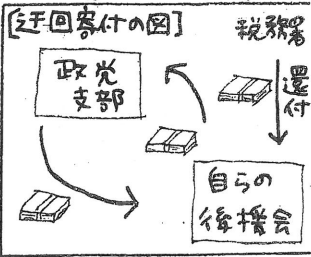
4月13日(土)朝5時33分、淡路島を震源として震度6弱の地震が発生。和歌山市は震度4で、大きな揺れで目が覚めた方も多かったのではないだろうか。「災害は忘れた頃にやってくる」と言います。何らかの準備が必要だとあらためて思いました。

12年度市政世論調査(第66集)

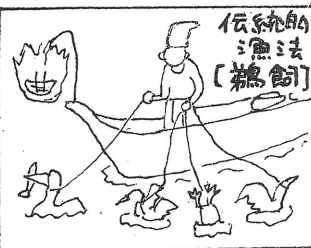
12年度市政世論調査概要(第66集)が届きました。今回は、景観、消防・防災、防犯、国体、男女共生、小児救急、健康、スポーツ、

各家庭の防災対策と要望は

地震への備えでは、非常持出品や備蓄品を用意(49%)、家具が倒れないよう固定(31%)、火気器具の周りを整理(20%)で備えナシ(30%)。用意しているものは、懐中電灯やローソク(88%)、飲料水(71%)、携帯電話(64%)となっており、家族や近所の方と防災に關して取り決めていることは、集合場所(33%)、避難経路(14%)、連絡方法(10%)で、特にナシ(50%)ということでした。防災対策で行政に望むことは、正確で迅速な情報伝達(65%)、避難場所や避難路の整備(64%)、非常



誰が始めたか
しんが、何か
伝統的に作られた
ようやナ



ウカイといは
脱税 寄付と
言うへまでは

用物資の十分な備蓄(63%)となっており、先週の土曜日、地元四カ郷後援会の皆さんとマイクロバスを借りて、かつらぎ町、天野の丹生都比売神社を訪ねました。お目当ては桜の下で、ワイワイがやがやとやることです。いつもなら4月中旬頃まで花が残っているのですが、今年はずでに散りはじめ、わずかに残りの花を楽しむことになりました。

丹生都比売神社は、高野山のふもと、標高450mの盆地にあり、創建されたのは700年前と伝えられ、全国にあまたある丹生神社の総本社です。本殿参拝もそこそこ、敷物に座り込み、春の一日を楽しませてもらいました。また、遊ぶばかりではなく、行きのバスの中で安倍政権と日本共産党と題してきつちりと政治の話をし、共産党後援会らしいバスツアーにもなりました。話は変わりますが、4月28日、名草山ハイキングをします。集合は午前10時、弁当・飲み物持参で、広原地区への入り口(駐車場あり)です。イノシシ対策のハイキングでもあります。ふるってご参加ください。



高宏 前議員

生産緑地指定で農地保全を

生産緑地制度は、良好な都市環境づくりを目的に、市街化区域内の農地を「生産緑地」として指定し、緑地の保全を進める制度です。06年度に始まったこの制度は12年度末で239地区68・55ha(市街化区域内の農地の10・24%)に広がっています。

指定された農地は、翌年度から固定資産税・都市計画税の課税見直しの対象となります。

- ◎対象農地＝〇市街化区域内の農地 〇農地面積1千㎡以上で、幅員4m以上の公道・農道に接している
- 〇農業を継続できる状況である
- 〇権利者全員の同意がある
- 〇公害・災害の防止等、良好な生活環境を確保する用途があるなど

こんには日本共産党

親ばと後援会の「春のつどい」に参加して15分ほどの話をさせてもらった。元気がでる話ができるといいなと思いつながら、県下各地で起きている変化を紹介させてもらった。「維新」に入れたけど

失敗や、たという声をどこでも耳にするようになった。ほんの3カ月前、「維新に期待する」という声をたくさん聞いたが、自民党に寄り寄っている姿を見てそんな期待は消えていっている。民主党もほんとに影が薄い。総選挙でどうして白河野で票が増えたのか教えてほしいとの問いがあり、その秘訣を話すと明るい表情に



原やすひさ (参院選挙区)

なり、少し元気になった。くれたよ。 「赤旗」を増やしてほしいとの僕の呼びかけにうなずき、購読してくれろ方がいたよとの知らせを聞き、こっちが元気をもらった。

第34回 和歌山県 水

メーデー 5月1日

- 9時30分開会 和歌山城西のれ広場
- 〇 賃上げ、雇用拡大、景気回復を実現しよう
 - 〇 消費税増税反対、社会保障の切り捨て反対!!
 - 〇 震災からの早期復興を求めよう

憲法記念日はJR駅前へ

憲法9条を守る和歌山弁護士会が、憲法9条を守るわかやま県民の会ニューズ141号で5月3日の憲法記念日にJR駅前で開催(11時〜)とアピール行進の呼びかけをしています。呼びかけ文の一部を紹介します。

「昨年12月の総選挙の結果、「改憲」を公約に掲げる政党が衆議院で3分の2以上の議席を占めるに至り、夏の参議院議員選挙の結果次第では、明文改憲が具体的に存政治日程にのぼること」

「憲法9条を守り住かそうあかやまアピール行進」を行うこととしました。ご協力を願います」

短歌

勝田 鉄也

あどけなきテレビを見ける妻の顔
六歳になる孫とダブれり
厨房に愚痴を言ける吾妻の
今はテレビにけらけら笑う